

港区史編さん期間の変更について

区は、港区政70周年記念事業として、平成28年度から港区史の編さんに取り組んでいます。編さん期間について、全編を平成28年度から平成31年度までとしていましたが、近代編及び現代編の編さん期間を変更します。

1 理由

新しい港区史は、昭和54年5月に刊行した「新修港区史」以降を検証・加筆する方法から、全編を新たに書き起こす方法に変更し、編さんに取り組んでいます。そのため、各時代の監修者及び執筆者から多くの調査対象が存在し、史資料調査等の充実が必須であるとの意見が多数あったことから、その期間を確保するため、特に執筆ページ数が多くなる近代編及び現代編については、スケジュールを見直すこととしました。

2 全体構成と編さん期間

編（時代区分等）	変更前 （刊行年月）	変更後 （刊行年月）	概算経費
自然史・原始編 （自然の歴史・旧石器時代 ～弥生時代）	<u>平成31年度まで</u> <u>（平成32年3月）</u>	平成31年度まで （平成32年3月）	約3億8千万円 （主な項目） ◆編さん・制作業務 ◆史資料等のデジタル化 ◆新修港区史、目録データの 検索等システム運用 ◆編さん委員会の運営支援 ◆事務局運営業務等
古代編 （古墳時代～平安時代）			
中世編 （鎌倉時代～安土桃山時代）			
近世編 （江戸時代）		<u>平成33年度まで</u> <u>（平成34年3月）</u>	
近代編 （明治時代～港区誕生前）			
現代編 （港区誕生後～現在）		<u>平成34年度まで</u> <u>（平成35年3月）</u>	
図説版 （仮称）図説 港区の歴史		平成31年度まで （平成32年3月）	
資料編		平成34年度まで （平成35年3月）	

3 その他

今後、区史を編さんする過程において取得した史資料については、インターネット上に蓄積していきませんが、重要な資料も出てくることから資料編を作成します。

今後、資料編の編さん方法等について検討していきます。